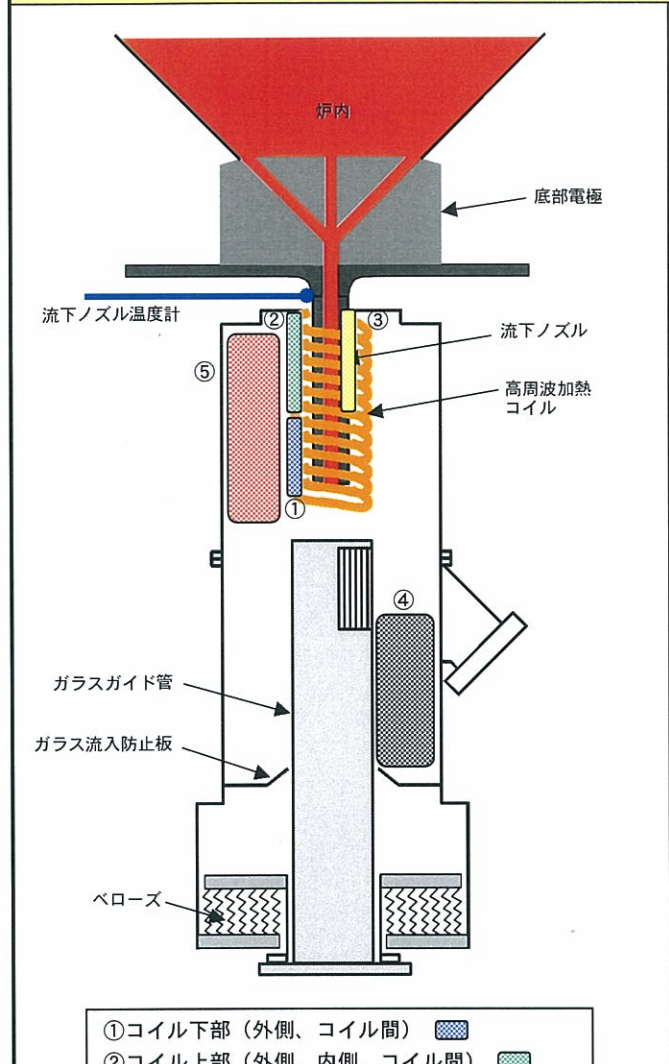

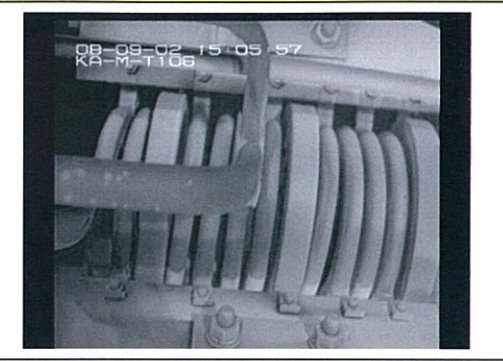
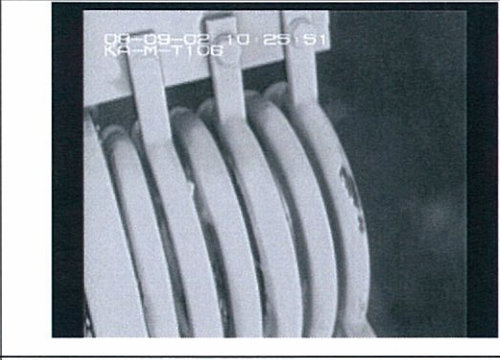

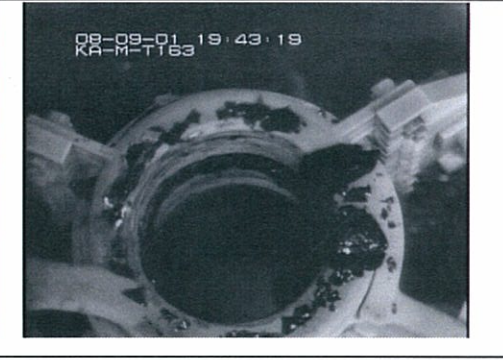
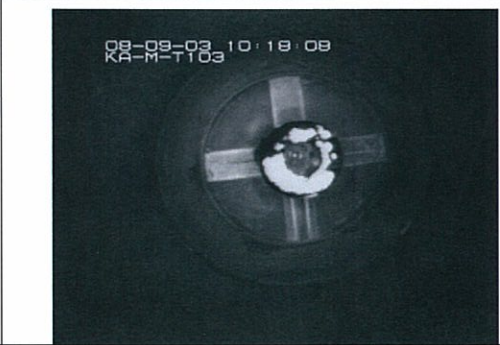

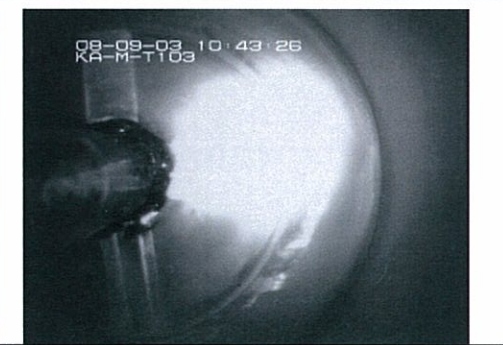
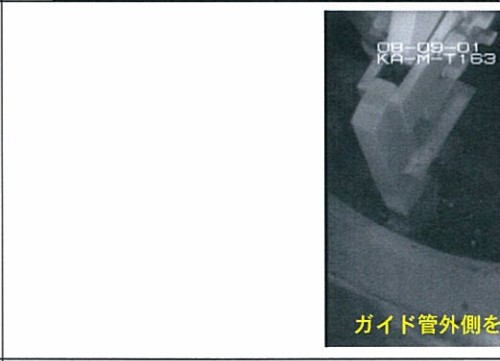



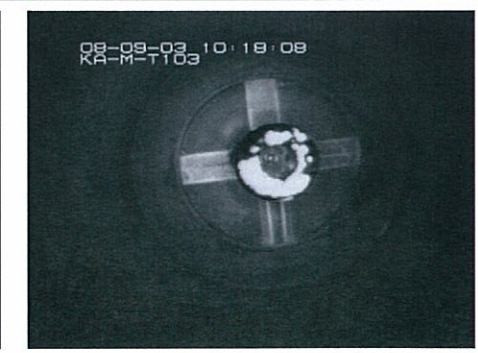
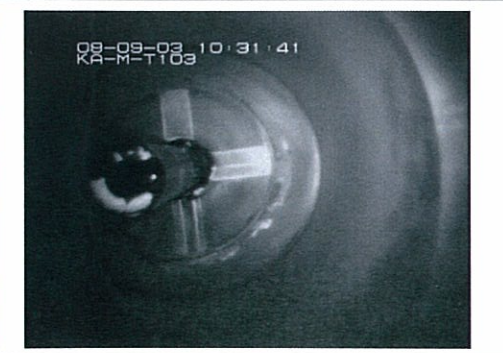
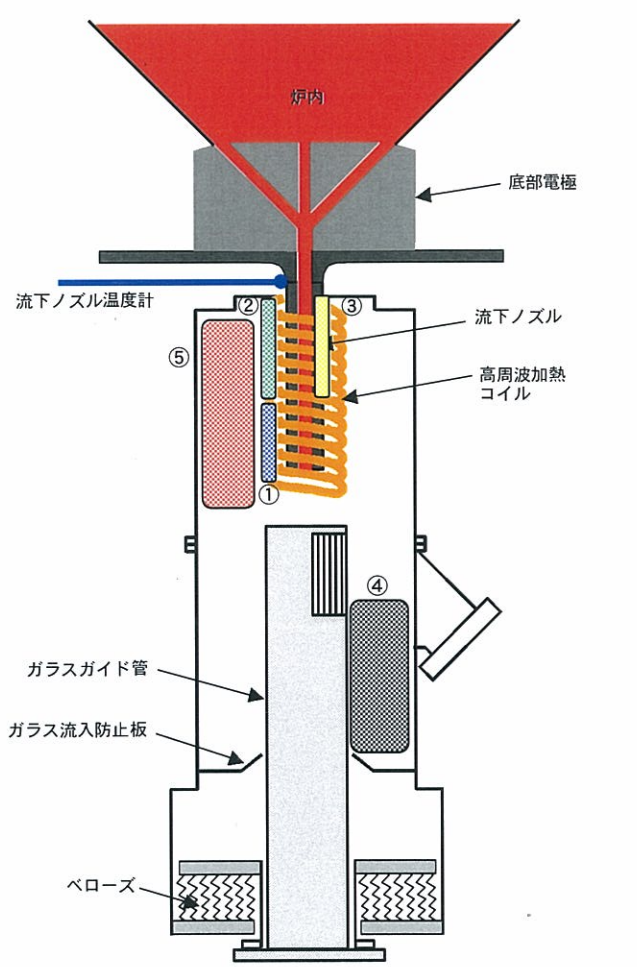






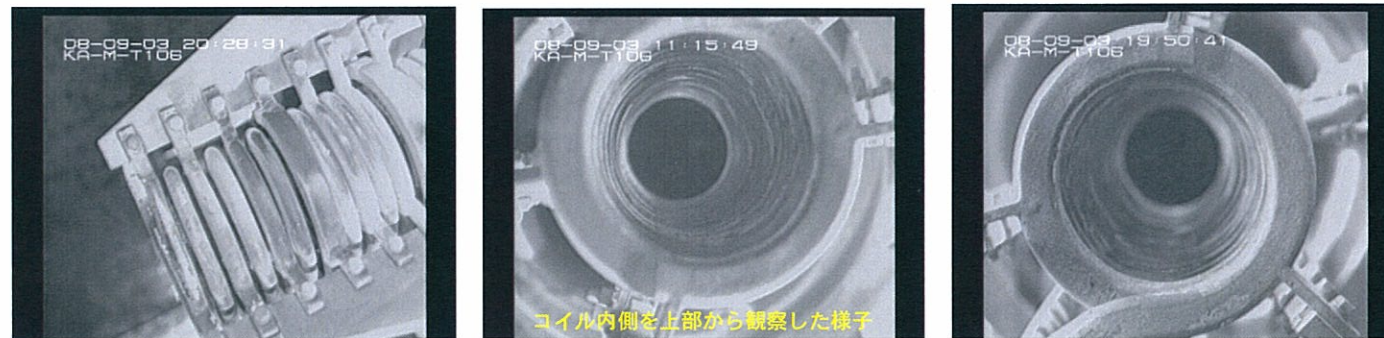
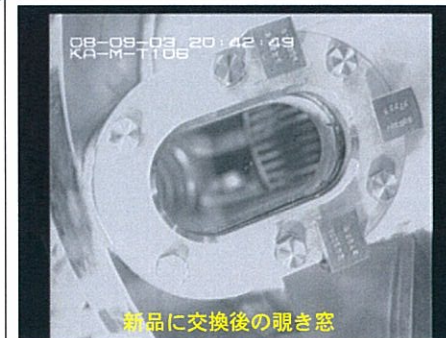


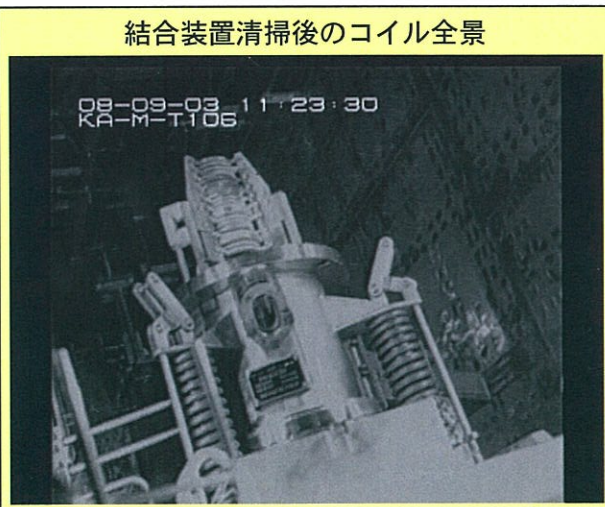
結合装置取り外しによる確認結果 (清掃前)

<p>確認部位 (ITVによって結合装置取り外し前に確認されている部位は除く)</p>	<p>観察で 確認した事象</p>	<p>観察結果</p>		
	<p>① 高周波加熱コイル下部 (5段) ・ 外側 ・ コイル間</p>	<p>高周波加熱コイル間に、ガラス等の付着が確認された。 また、コイル表面に粉状の付着物が確認された。</p>		
<p>② 高周波加熱コイル上部 (14段) ・ 外側 ・ 内側 ・ 上面 ・ コイル間</p>	<p>高周波加熱コイル中段の内側全周に、ガラス等の付着が確認された。</p>		 <p>コイル内側を上部から観察した様子</p>	
<p>③ 流下ノズル上部 ・ 外側</p>	<p>流下ノズル上端部付近に付着ガラスが確認された。</p>			
<p>④ ガラスガイド管 ・ 外側</p>	<p>ガラスガイド管外側のガラス流入防止板上に、ガラス片が少量散在しているのが確認された。 また、覗き窓内側に少量のガラス片が散在しているのが確認された。</p>	 <p>ガイド管外側を上部から観察した様子</p>		 <p>覗き窓を内側から観察した様子</p>
<p>⑤ 結合装置上部 ・ 内部</p>	<p>ガラス等の付着は確認されなかった。</p>			

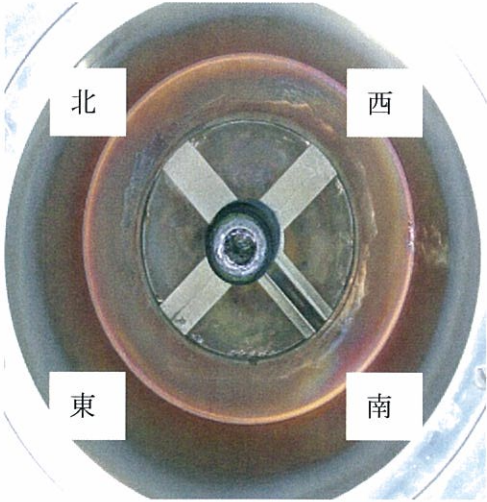
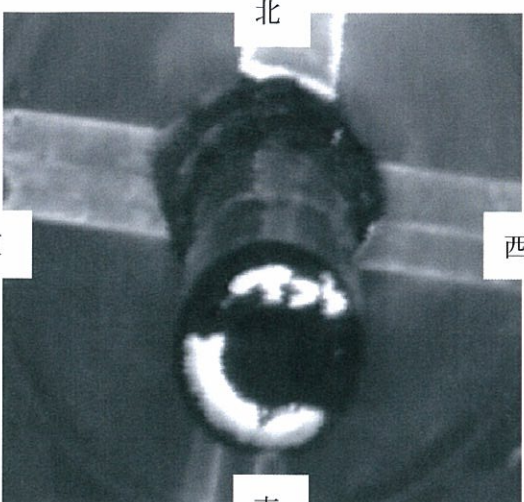
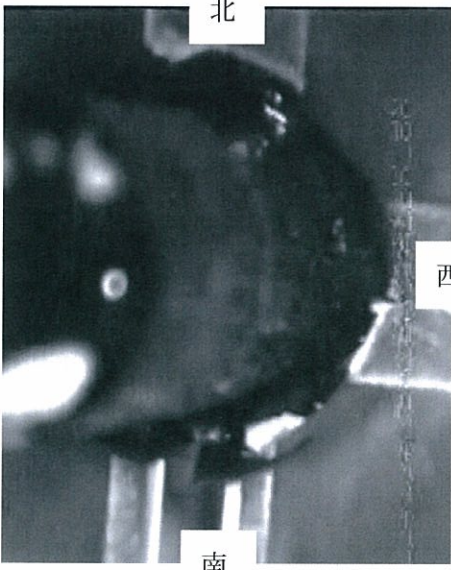
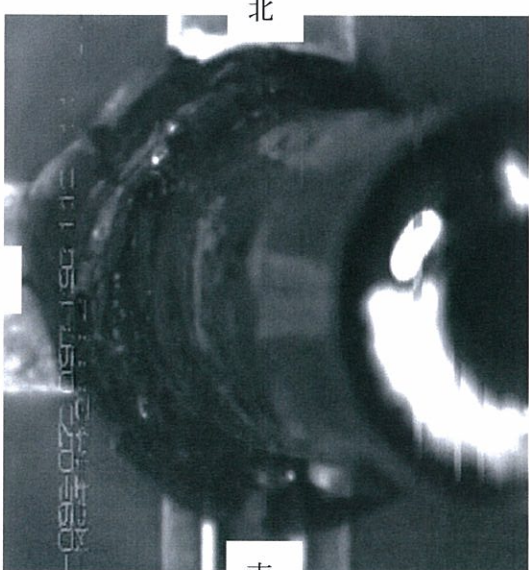


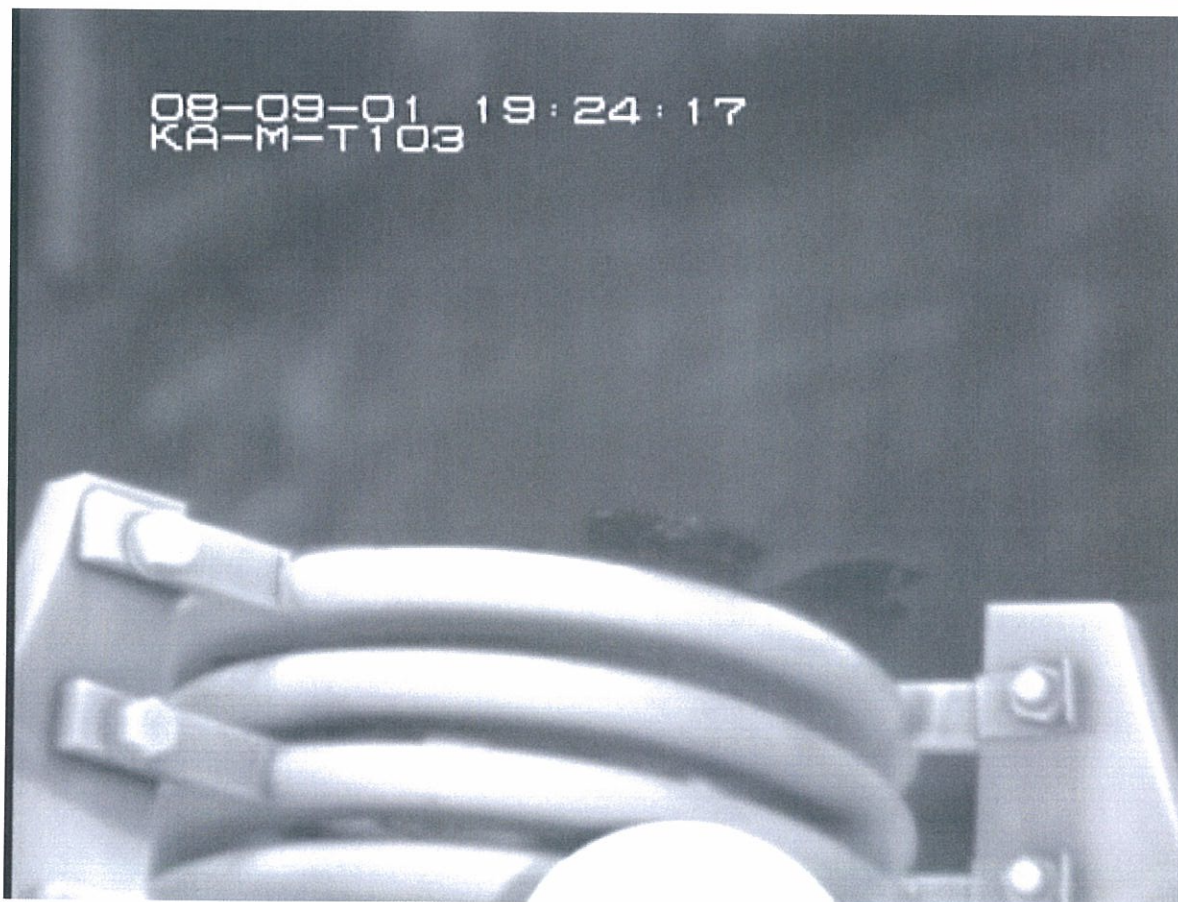
結合装置取り外しによる確認結果 (清掃後)

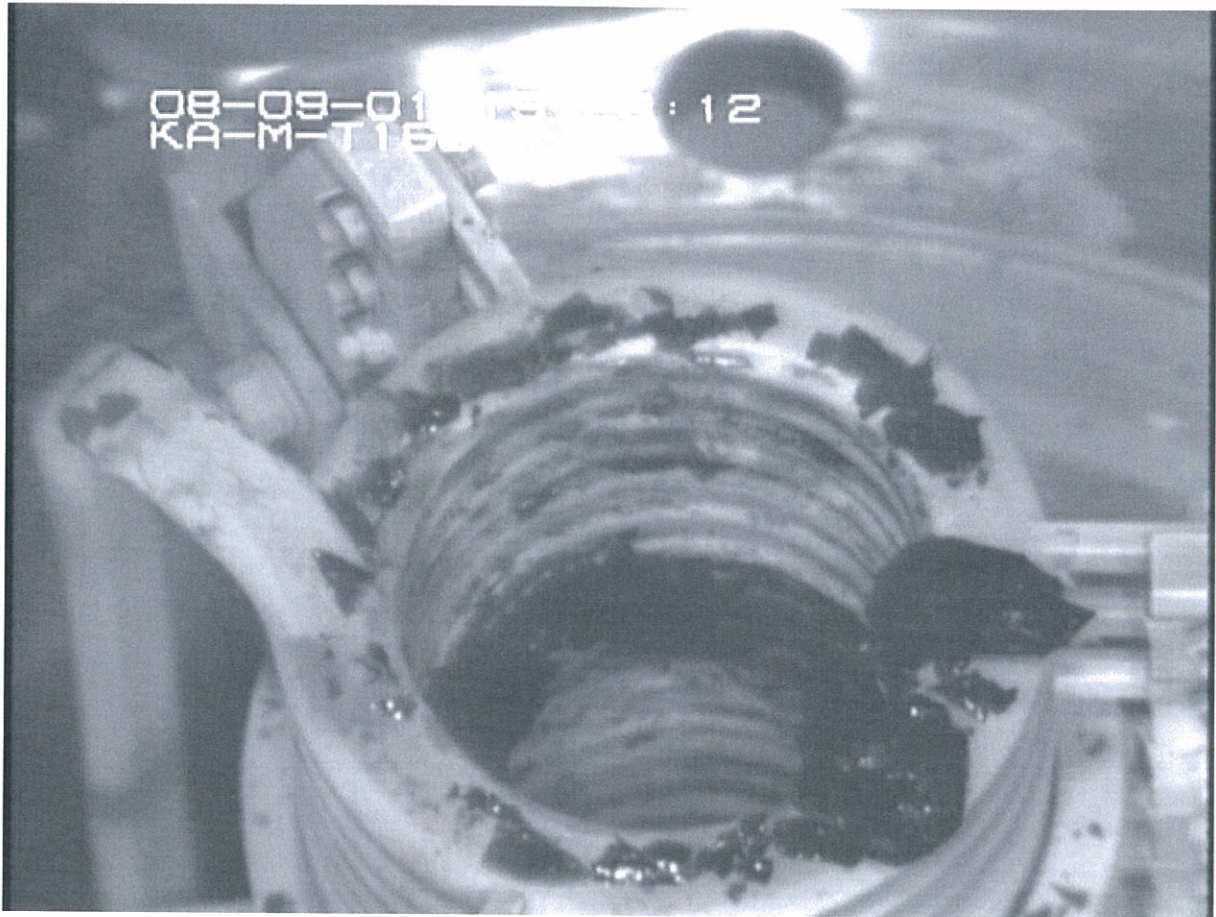
<p>確認部位 (ITVによって結合装置取り外し前に確認されている部位は除く)</p>	<p>清掃結果</p>	<p>観察結果</p>
 <p>①コイル下部 (外側、コイル間) </p> <p>②コイル上部 (外側、内側、コイル間) </p> <p>③ノズル上部 (外側) </p> <p>④ガラスガイド管 (外側) </p> <p>⑤結合装置本体 (内部) </p>	<p>① 高周波加熱コイル下部 (5段) ・ 外側 ・ コイル間</p>	<p>高周波加熱コイル間のガラス等を除去できた。また、コイル表面に粉状の付着物を除去できた。</p> 
<p>② 高周波加熱コイル上部 (14段) ・ 外側 ・ 内側 ・ コイル間 ・ 上面</p>	<p>高周波加熱コイル中段の内側全周に付着していたガラス等をハケにより除去できた。</p>	 <p>コイル内側を上部から観察した様子</p>
<p>③ 流下ノズル上部 ・ 外側</p>	<p>④ ガラスガイド管 ・ 外側</p>	<p>新品の覗き窓に交換した。</p>  <p>新品に交換後の覗き窓</p>
<p>⑤ 結合装置上部 ・ 内部</p>	<p>⑤ 結合装置上部 ・ 内部</p>	<p>⑤ 結合装置上部 ・ 内部</p>



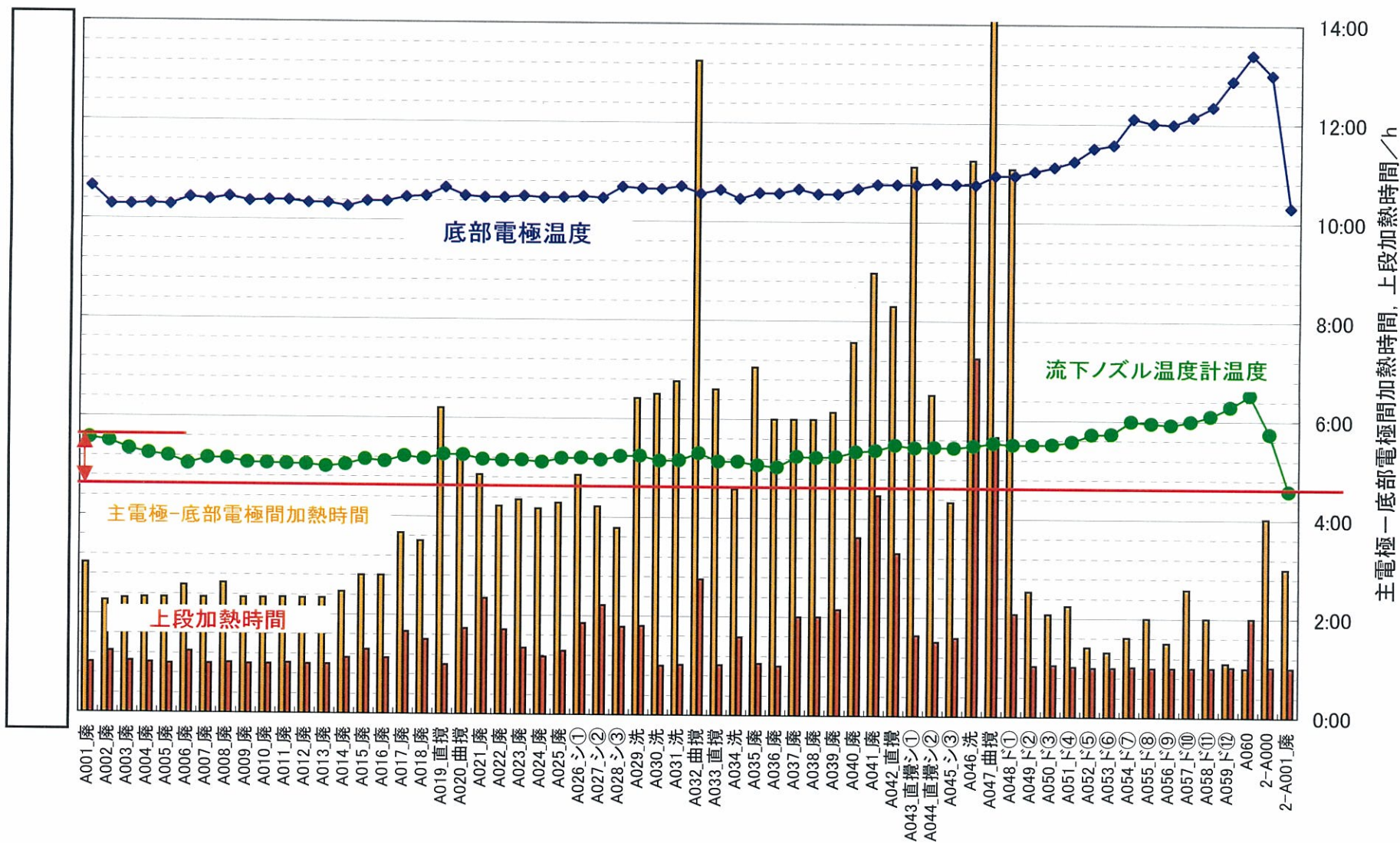
## ガラス溶融炉 A 流下ノズル上端部等の詳細観察結果

<p>【参考】化学試験終了後の映像 (2005/3/8 撮影)</p>	<p>流下ノズル側面が全面にわたりガラスで コーティングされている</p>
	
<p>流下ノズル上端部 (北-西-南)</p>	<p>流下ノズル上端部 (北-東-南)</p>
	





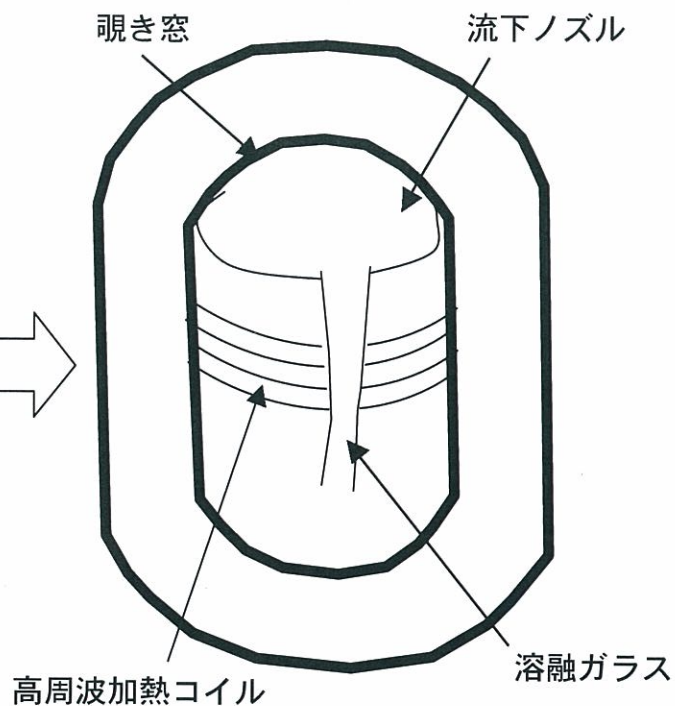
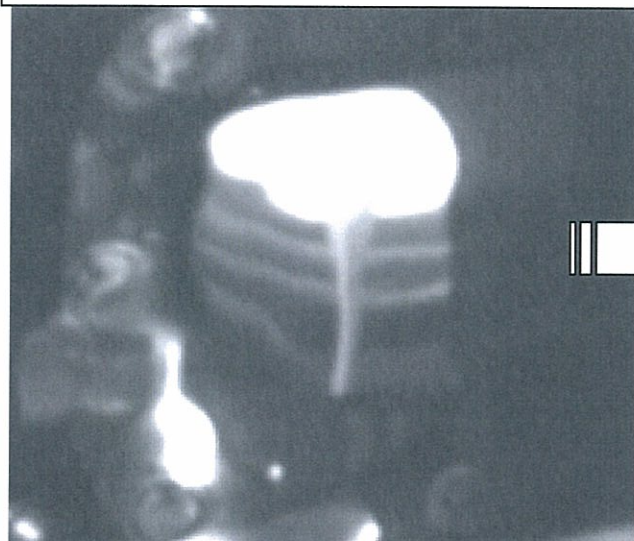
1回目全段開始時の底部電極, 流下ノズル温度/°C



流下ノズルの昇温状況

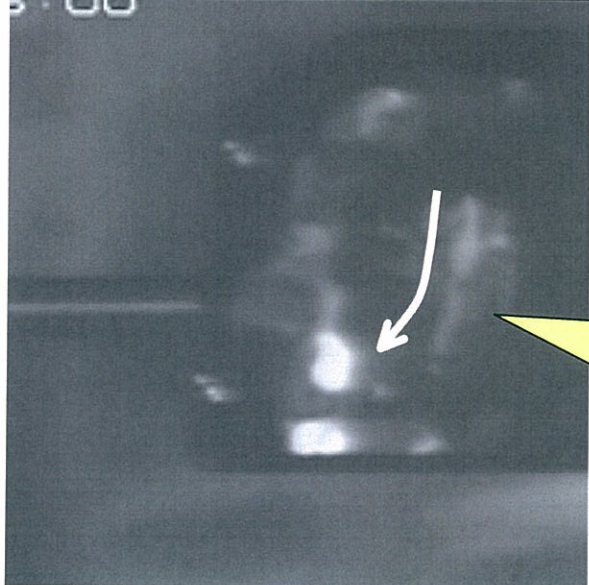
### 今回の流下状況

アクティブ試験第4ステップにおける  
流下時の映像（参考）



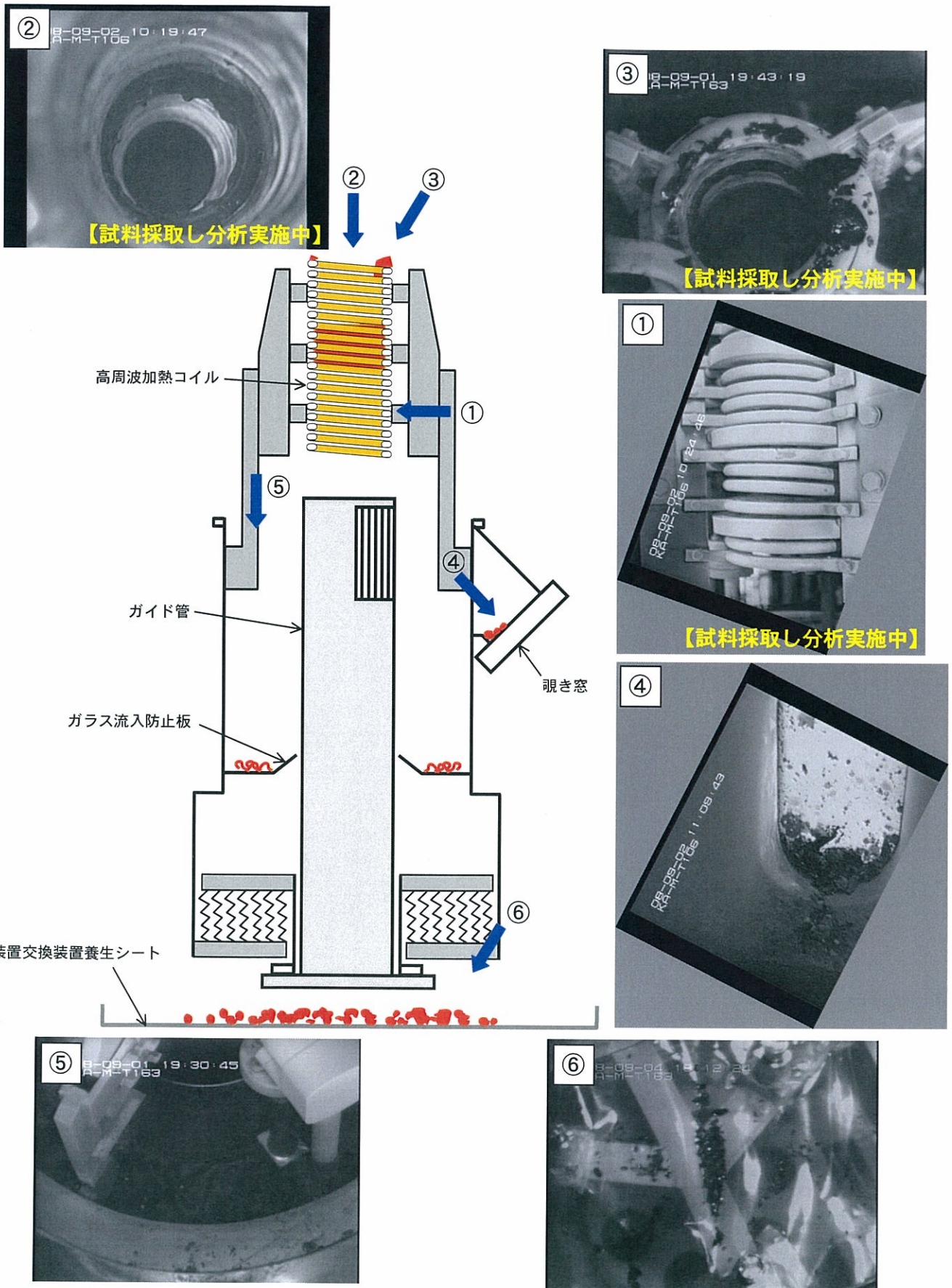
I TVカメラ概略図

今回の流下時（AT-2-A001）の映像



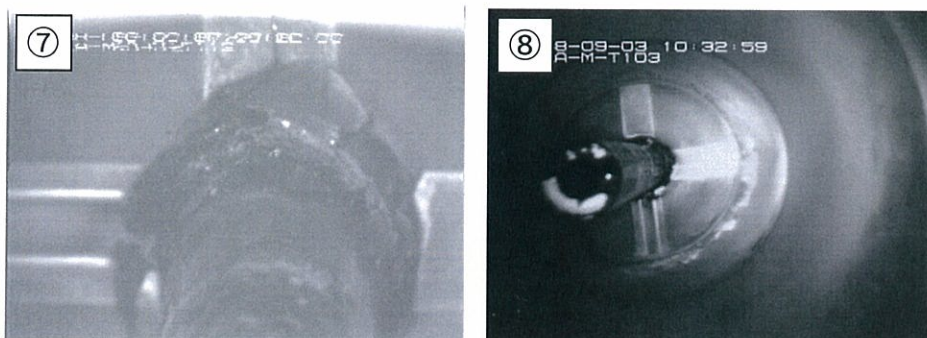
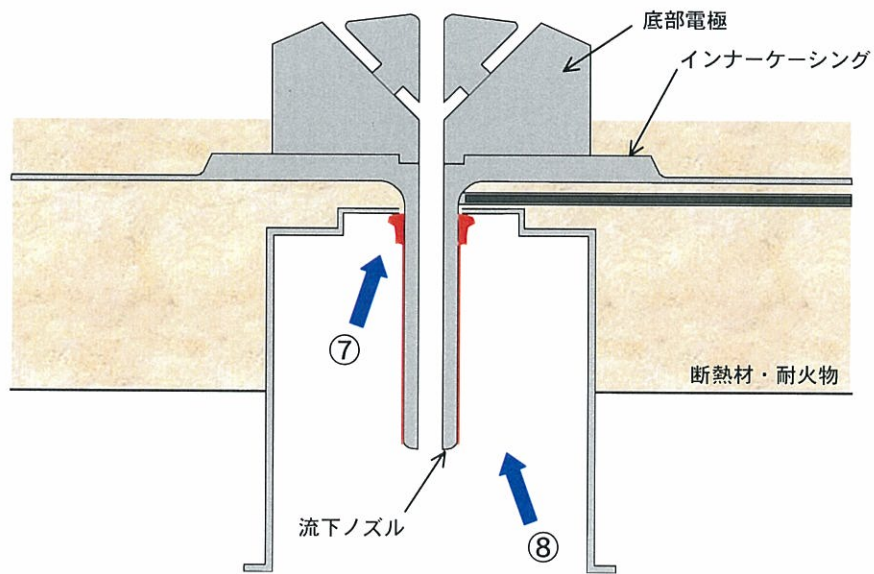
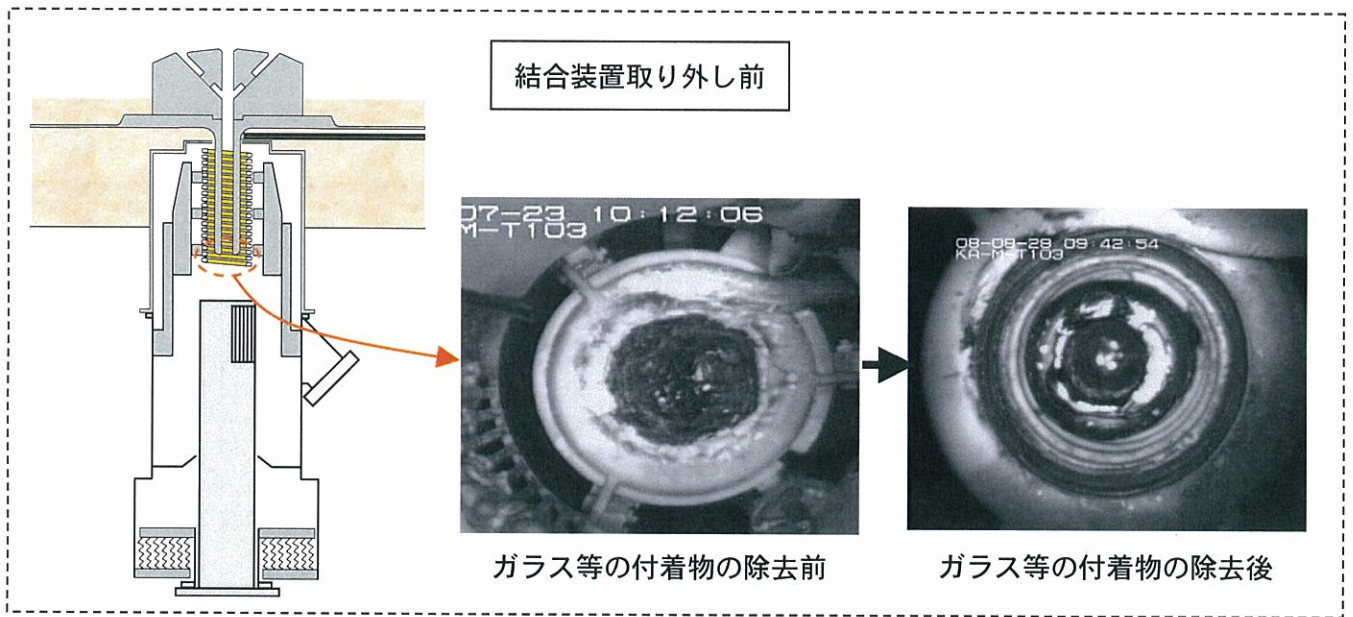
流下開始時後、断続的に数回の流下状態が観察窓からの目視により確認できたが、流下は直下に伸びる状態ではなかった。  
[今回事実（流下映像）]

結合装置取り外し後の付着ガラス等観察状況と分析試料採取箇所



結合装置観察状況





流下ノズル観察状況

**ガラス等付着状況**

- ①高周波加熱コイル表面に粉状の付着物が付着していた。
- ②高周波加熱コイル中段内側に全周にわたってガラスが確認された。  
本ガラスについては、ハケによる清掃時の振動で容易に除去できた。
- ③高周波加熱コイル上面にガラス片が載っていた。本ガラスは、ハケにより容易に除去できた。
- ④覗き窓内にガラスが散在していた。覗き窓については新品に交換した。
- ⑤ガイド管外側に少量のガラス片が散在していた。
- ⑥結合装置交換装置の養生シート上にガラスが散在していた。結合装置取り外し直後の清掃時に③等のガラスについても養生シート上に落下した。
- ⑦流下ノズル上端部にガラスが付着していた。
- ⑧流下ノズル表面はガラスが薄く付着していた。  
また、結合装置上部にガラス等の付着は確認されなかった。

**ガラスサンプリング状況**

- ①の粉状付着物についてサンプリング試料の採取を行い、分析を実施中である。
- ②のコイル中段に確認されたガラスについては、清掃時に落下したものを試料採取し、分析を実施中である。
- ③のコイル上面に載っていたガラスについては、結合装置取り外し直後のハケによる清掃で結合装置交換装置の養生シート上に落下したものをサンプリング採取し、分析を実施中である。